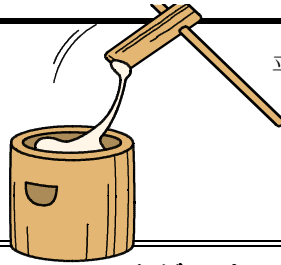


赤

心

第29号



12月②

長野市立安茂里小学校



平年よりも暖かい12月ですが、今週の月曜日から冷え込んできました。個別懇談会、ありがとうございました。

学校では、二学期最後の週となりました。おなかにくるカゼが少し流行っているようですが、364名の児童と教職員25名にて二学期終業式を迎えようとしています。

子どもたちがより良い年末年始休みを過ごし、1月8日に元気な明るい顔で三学期始業式を迎えることができるよう、家庭での指導をお願いします。

学校だより赤心26号(4月)や学年だより等でお伝えしてきた学校版EMS(環境教育)ですが、本校の中心となって取り組んでいる5年1組が、11月22日に行われた長野市環境こども会議で取り組みを発表してきました。発表の様子は長野市民新聞に掲載されました。また、先にお配りしました長野市PTA新聞にも5年1組の取り組みについて掲載されております。

今号には、10月の校長講話にて、学校長が話した内容を掲載しました。前号の続きです。子どもたちに分かりやすく語っていただくことで、より深く理解してくれるものと考え紹介します。

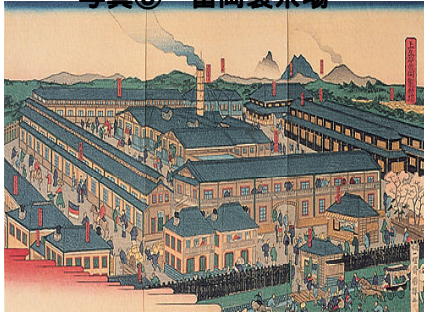
### 「日本の工業を発展させるためには、立派な大学が必要だ」

「福澤諭吉 人生の言葉」

#### 『藤原銀次郎さん』

おはようございます。この前の校長講話では、安茂里小学校に関係の深い藤原銀次郎さんについて話しましたが、きょうは、この前の続きを話します。

写真⑤ 富岡製糸場



この前は、群馬県富岡にある富岡製糸場の経営を任されて、ここでも工場を建て直して、たくさんの業績をあげました。という話をしましたね。さあ、銀次郎さんは、このあとどうなっていくかについて話しましょう。

富岡製糸工場を立て直して、工場の経営も安定してきたころ、今度は、新聞紙や色々な紙を造る会社では、日本で一番大きな会社であった王子製紙の立て直しのために呼ばれます。

この当時、王子製紙の中では、経営する人たちが経営の仕方をめぐってケンカがはじまり、それがきっかけで、働いている人たちがストライキと言って、「早く会社を安定させろ」「給料をあげてほしい」とか「働く時間をもう少し短くしてほしい」「それをきいてくれないと私たちは仕事をしないぞ」などと要求して工場が止まってしまったりして、会社の中が大混乱になって

写真⑥

#### 王子製紙 社長? 会長



していました。ここでも、三井銀行がたくさんのお金を出していたので、三井銀行の社長さんが、あの福澤諭吉先生と相談して、「この会社を建て直すには、藤原銀次郎しかいない」ということで、銀次郎さんは、王子製紙の支配人となって、また、工場の建て直しに成功します。そして、51才でこの会社の社長に、69才で会長になります。この王子製紙は、紙を造る会社としては、現在世界で5番目。合成紙の生産量と販売では、なんと世界一位だそうです。家庭用の紙製品では、トイレッ

トペーパー、ティッシュなど、皆さんも日常生活で大変お世話になっていますね。

さて、世界の大企業の会長さんになっていた銀次郎さんは、“日本の工業を発展させるためには、立派な大学が必要だ”と考えて、自分のお金で「藤原工業大学」という大学をつくります。これが、藤原工業大学が出来た当時の写真です。写真⑦

この大学は、後に現在の慶應義塾大学の理工学部になります。写真⑧ これが、銀次郎さんの銅像です。この銅像は、今、慶應大学理工学部に飾ってあります。

長野県には、信州大学という立派な大学がありますが、その大学の先生がたまたまお客さんで来ら

写真⑦



写真⑧



れて、校長室にあるこの額を見つけて「あれっ藤原銀次郎さんって安茂里の方なんですか？実は、私は、慶應大学の出身で、慶応に入ると、新入生は、まず、福澤諭吉先生と藤原銀次郎先生についての話をきくんです。藤原先生の銅像もいつ

も見ていました。やあ懐かしいなあ、ここで藤原先生のお話出来るなんて！」と、とても喜んでいらっしゃいました。この藤原工業大学そして現在の慶應大学からは、我が国や世界で活躍する人たちがたくさん出ているんです。

写真⑨

麻生太郎 内閣



この写真は、9月24日発足した麻生内閣の麻生太郎総理大臣をはじめ、そのほかの大臣さんたちが集まった写真です。これからしばらくは、この人たちが中心となって日本の政治をしていきますが、王子製紙の会長だった銀次郎さんは、日本の政治に力を貸してほしいということで、昭和15年(1940年)に米内光政内閣の商工大臣に選ばれます。これは、今の通商産業大臣に当たります。銀次郎さん71才の時でした。そして、次の東條英機内閣では、国務大臣。次の小磯國昭内閣の時には、軍需大臣に選ばれ、日本のために命がけで働きます。

実は、大臣として銀次郎さんが活躍した時は、丁度日本が世界を相手に戦争をしていた時期だったので、戦争が終わってからは、“銀次郎さんも、ほかの大臣たちといっしょに、この戦争を起こした責任があるのではないか？”と戦争犯罪人の疑いをかけられて、アメリカ軍によって、厳しい取り調べを受けました。中には、死刑になったり、禁固刑といって死ぬまで牢屋に入れられてしまった大臣も大勢いましたが、銀次郎さんは、幸いに許されて家にかえしてもらうことができました。このとき77才となっていた銀次郎さんは、その後は、静かに余生を暮らし、昭和35年(1960年)東京の自宅で91才の生涯を閉じました。

これは、銀次郎さんが書いた本です。銀次郎さんは、自分の先生であった福澤諭吉先生から数々の教えを「福澤諭吉 人生の言葉」という本にまとめました。

私は、この本をどうしても読みたくて、このごろ、本屋さんで注文したところでした。また、この本のほかにも、人としての生き方について何冊か本を書いています。いずれも大人向けなので、皆さんには、難しく読めませんが、高校生くらいになったら読めると思います。

安茂里が生んだ偉人、藤原銀次郎さんの名前をしっかりと覚えておいて、大きくなったらぜひ、銀次郎さんが書いた本を読んでみましょう。

写真⑩

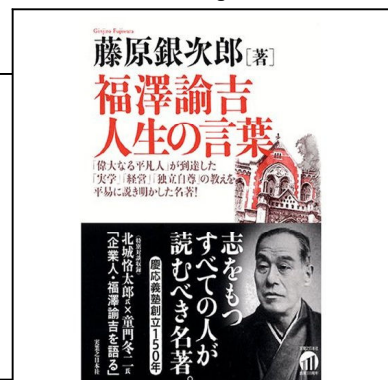
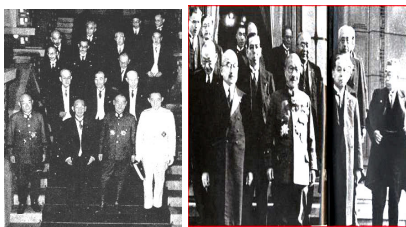
写真⑩

米内内閣商工大臣



写真⑪

小磯内閣軍需大臣 東條内閣国務大臣



### ○学校版EMS（環境マネジメントシステム）・・・学年の取り組み

- 【1年】 雨水利用による節水、プリント裏紙の利用、サツマイモやアサガオのつるを利用しリース作り
- 【2年】 雨水利用による節水、地域のゴミ拾い、ビデオ学習「21世紀の子どもたちが地球を救う」
- 【3年】 雨水利用による節水、水の学習「水はどんなときに使うか」「水の汚れ」、アクリルたわし作り
- 【4年】 雨水利用による節水、DVD「地球はいま」地球温暖化の学習、牛乳パックリサイクル
- 【5年】 雨水利用による節水、全校に呼びかけるポスター作成、下刈などの森の手入れ、間伐材木工作
- 【6年】 雨水利用による節水、環境問題(CO<sub>2</sub>、森林伐採、光害、砂漠化、地球温暖化)の理解と発表、プリント裏紙の利用

## 二学期の研究授業

～生きる力をはぐくむために、日々授業改善を行っています～

- \* 9月19日 5年2組 特別活動 「友達と仲良く遊ぼう～一人ひとりがクラスの一員～」  
4年2組 特別活動 「なかよし遊び～ルールを守って楽しく遊ぼう～」
- \* 10月 9日 4年1組 理科 「物のあたままり方」
- \* 11月11日 6年1組&1年2組 総合的な学習の時間 「安茂里小ランドを一緒に楽しもう」  
5年1組 学級活動 「あなたは、どう思う？」
- \* 12月 3日 6年2組 国語 「キーワードを基にした要約」